

令和5年度神奈川県教科用図書足柄上採択地区採択検討会
会議録（要点筆記）

日時：令和5年7月11日（火）13:30～16:40

場所：山北町生涯学習センター会議室

○事務局から検討会規約第7条第2項の規定により検討会が成立したことを報告

○野地会長から開会の挨拶

○委員から「議題(1)令和6・7・8・9年度使用小学校教科用図書について」を非公開にする発議があり、全員賛成で承認される。

議題(2)その他

○意見は出されなかった。

議題(1)令和6・7・8・9年度使用小学校教科用図書について

○国語・書写 高橋調査員より調査研究の結果について説明を受ける。

〔野地議長〕

それでは何かご質問等ありましたらお願いします。

〔飯山委員〕

国語の2社の中で、複式指導への配慮というのが、東京書籍株式会社と光村図書出版株式会社にあると思うのですが、このことで、もし調査員の中で話題になっていたら、お話をいただければと思います。

〔高橋調査員〕

話題には上がりました。2社は確実に複式指導への配慮が掲載されていて、教育出版株式会社については複式学級については掲載をされていなかったのですが、教科書を見る限り、おそらくこういった配慮で作られているんだろうなという箇所はありました。

〔野地議長〕

他に質問はございますか。

〔夏苺委員〕

1年生の教科書でいわゆる書くこと、鉛筆の持ち方や聞く姿勢とか、そういうものが最初にあると思うのですが、子どもたちの様子を見ると鉛筆の持ち方が非常に気になる中で、今回二次元コードなど各社それぞれ工夫しているなと思います。一連の流れの中で鉛筆の持ち方を子どもに定着させようとしているのかと思ったのですが、それがただその場だけではなくて、日常的に意識させていかなければいけないと思います。

昔の話をする、掲示物なども鉛筆の持ち方や姿勢など、よく貼っていた1年生の教室など思い出します。最近は黒板の前には掲示物を貼ること自体どうかということ指摘されている中で、教科書には巻末にそういった部分を置いてあるところもあったのですが、日常的なことも含めて、教科書の取り扱いの中で、もし話題があったら教えていただきたいと思います。

無いようでしたら、先生自身どう考えているのかということもお話していただけたらと思います。

〔高橋調査員〕

調査員会の中で1年生の話題は出なかったのですが、書写も含めて全社が巻頭に姿勢や鉛筆の持ち方を掲載していました。私の個人的な考えですが、やはり6年生になるまで、大事な内容であると感じました。二次元コードがあることが新しい教科書の特徴であると思いました。

それをうまく使いながら教師が工夫をし、でもそれだけに頼ってもいけないと思いました。各社で読む姿勢や鉛筆の持ち方を二次元コードで読み込んで見ることができたのですが、東京書籍株式会社では詳しい動画付きで、ちょっと他の会社とは違う特徴があるということが話題に上がりました。

〔野地議長〕

他に質問はございますか。

〔井上委員〕

書写の毛筆と硬筆との関連というところで、一社は硬筆で課題を見つけて毛筆で解決して硬筆で振り返るという流れ、他の2社はそうではない流れなのかなと読み取ったのですが、そのあたりは調査上、いかがでしたか。

〔高橋調査員〕

調査した結果、そのようになっております。

〔野地議長〕

他にご質問はございますか。

〔山野委員〕

6年生の古典教材の扱いにつきまして、各社で内容や意図が違い、それぞれ個性があるように感じました。調査員で何か話題になりましたらお願いします。

〔高橋調査員〕

申し訳ありません、古典については話題に上がらなかったです。

〔野地議長〕

他にご質問はございますか。

〔岩本委員〕

読書活動の充実は、今日的な課題であり、大切なテーマだと感じています。その中で、各社の読書活動を推進するような構成の特徴などについて、調査員の話になったことがあれば教えていただきたいと思います。

〔高橋調査員〕

はい、話題になりました。例えば教育出版株式会社でしたら読み物教材の終わりには関連の図書が必ず掲載されており、全社でそういった関連の図書の紹介がありました。

〔野地議長〕

他に質問はございますか。

全委員

なし（他にはなし）

〔野地議長〕

それでは、国語、書写を終わります。

○社会・地図 島田調査員より調査研究の結果について説明を受ける。

〔野地議長〕

それでは何かご質問等ありましたらお願いします。

〔渡邊委員〕

4年生で神奈川に関する地域学習というのがあると思うのですが、そこについての情報量というか学習内容について、3社の中で調査員の方で感じたものがあるかどうかということをお聞きしたいと思います。

〔島田調査員〕

3社の中で、地域学習については東京書籍株式会社と教育出版株式会社は多少分厚くなりますが、情報量は同じようにあります。

〔野地議長〕

他に質問はございますか。

〔井上委員〕

日本文教出版株式会社の構成分量のところで、この会社だけ2学期制、3学期制に対応しているという文言があるのですが、他社との比較でどういう部分がこのように感じられたのか教えてください。

〔島田調査員〕

2学期制、3学期制の場合、ここから進めてくださいという記述が私たち教員側の方にありまして、その時数を区切ったときにちょうどいいという意味で、単元的に使いやすいかどうかは、ちょっと謎なのですが。そういう形の文言で区切っていました。

〔野地議長〕

他に質問はございますか。

〔浄泉委員〕

SDGsはこれからかなり重要なポイントになってくるのかなと思っています。お話を伺った中で、日本文教出版株式会社はかなり数多く取り扱っているようですが、3社を比

べた中で子どもたちに指導していく上で何かこのSDGsと関連させて取り扱いやすさや重要性など、感じられたものがあれば教えてください。

〔島田調査員〕

先ほど、おっしゃったようにSDGsは確かに日本文教出版株式会社が充実していると思いました。

私は今、6年生の担任をしているのですが、総合的な学習の時間でSDGsを扱う学校がとても多いとお聞きしていて、それと関連付けてやっていくという意味で扱いやすいです。他社の教科書にも載ってはいますが、目標シールも後ろに付いていて、教科横断的に活用しやすいという意味で、SDGsに特化しているのは日本文教出版株式会社です。例えば総合的な学習の時間のときに「ちょっと社会の教科書を出してごらん。」という形で使いやすく、内容の広がりがあるものになっていました。

〔野地議長〕

他に質問はございますか。

全委員

なし（他にはなし）

〔野地議長〕

それでは、社会・地図を終わります。

○算数 津田調査員より調査研究の結果について説明を受ける。

〔野地議長〕

それでは何かご質問等がありましたらお願いします。

〔浄泉委員〕

2点お願いします。まずプログラミングの関係ですが、東京書籍株式会社が4年生以上で、あとは全学年絡んでということです。東京書籍株式会社については1年生から3年生までで何かプログラム思考を高めるための内容が盛り込まれているのかどうか。

2点目は、コンテンツの量が各社かなり差がありますね。調査員の方々はどのように感じられたか教えていただきたい。

〔津田調査員〕

まず、1点目の東京書籍株式会社のプログラミングですが、例えば2年生の筆算の仕方の動画に筆算の手順をブロックの形式で提示するなど、プログラミング的思考を意識するような教材は1年生から3年生にも載っているようです。

2点目のコンテンツの量の差ですが、数には結構差があったのですが、数は少ないけれど1つのところに複数見られるとか、例えば東京書籍株式会社であれば、練習問題につき1つのコンテンツのようになっているので、差がついているようであり、基本的には図形の操作や作図の動画などについて、大きな差はなかったと感じております。

〔野地議長〕

他に質問はございますか。

〔夏苺委員〕

各社の1年生の教科書にかなり特色が出ているのではないかと、いわゆる教科書会社の主張が見られるのかなと感じました。特に入門期の対応やその中で扱っている単元構成や単元の数が、2つから4つ、1社は図形まで入っていますね。もう1つは数と計算の数の部分だけ、しかも単元の順が違っているというのがあるのですが、その中で特に話題になったことがあれば聞かせていただきたい。

〔津田調査員〕

単元の細かい構成などについては話題にならなかったのですが、このA4判の分冊のものがあつて、直接書き込むことができたり、操作がしやすくなったりしていることが話題に出ました。

〔野地会長〕

他に質問はございますか。

〔岩本委員〕

算数においてもノートの書き方というのは、本人の考えを整理する意味で非常に重要であるととらえています。各社ともノートの書き方についての記述はあるのですが、調査員の方々の中でどういう意見が出たのか、教えていただきたい。各社によって違いがあれば教えていただきたい。

〔津田調査員〕

各社による違いまでは今回分析できていませんが、各社ともにわかりやすいノート作りというページが掲載されていることで、ノート指導はとてもしやすいと感じるという話題は出ていました。

〔野地議長〕

他に質問はございますか。

全委員

なし（他にはなし）

〔野地議長〕

それでは、算数を終わります。

○理科 鈴木調査員より調査研究の結果について説明を受ける。

〔野地会長〕

それでは何かご質問等がありましたらお願いします。

〔飯山委員〕

最近、先ほど説明にもあったように二次元コード等で様々な実験が見られるところですが、理科という教科を考えれば、実験や観察はやった方が子どもたちは楽しいと思うのです。

今、日本中で1年間に起こる学校事故が1,000件を超えるようなことがある中で、どこにも記載がなかったのですが、この安全面への配慮が教科書の中にどういう点があったのか、あるいはなかったのか、教えてください。

〔鈴木調査員〕

安全面への配慮については、基本的にはその実験を行う場面において、注意マークが設定されてそこに書かれているもの、あとは、最後の巻末のところに、理科室での安全対策というところで、起こりやすい事故や、それに対する対策がまとめられているというふうな形で記載されています。

〔野地議長〕

他に質問はございますか。

全委員

なし（他にはなし）

〔野地議長〕

それでは、理科を終わります。

○生活 露木調査員より調査研究の結果について説明を受ける。

〔野地議長〕

それでは何かご質問等がありましたらお願いします。

〔石川委員〕

3・4年生の社会や理科へのつながりという視点で、もし調査員の中で話題になったことがあれば教えていただきたいと思います。

〔露木調査員〕

3・4年生とのつながりに関しては、幼児から小学校へのつながりの方をすごく意識してしまっていて、そこまで詳しくは話し合いができませんでした。

私としての考えですが、例えば朝顔などの植物の観察をしたり、自然物を使ってものを作ったりすることで理科につながったり、学校探検や町探検なども社会科につながったりするのかなと思っています。

〔野地議長〕

他に質問はございますか。

〔井上委員〕

東京書籍株式会社の構成のところに「評価と横断的な教育課程の編成に配慮されている」とあるのですが、特段目立った記載や編集があったのか、あるいは他社も同様のことを扱っていたが記載しなかったのか、教えていただきたい。

〔露木調査員〕

どの教科書でも、国語と朝顔のことがつながっているとか、ものを作ることは図工とつながっているとか、わかりやすくなっているのですが、東京書籍株式会社では、生活科につながっている教科のマークがありまして、わかりやすく記載されているように思います。

〔野地議長〕

他に質問はございますか。

〔夏苺委員〕

入門期の件で、いわゆる幼児教育からの架け橋プログラムの話題があったのですが、その中で「保護者へ」というような記載がされている教科書が何社かあったと思います。そのことで調査員の中で話題になったことはありましたか。

〔露木調査員〕

「保護者の皆様へ」というメッセージがあることは確認しましたが、それについて詳しい話は調査員の中ではありませんでした。

〔渡邊委員〕

朝顔の成長を中心にずっと追っていく教科書と色々な植物という教科書とあって、教科書もだいぶ変化がありましたので、そのことで何か話題があったら教えてください。

〔露木調査員〕

朝顔を中心に扱っているところとそれ以外のものも紹介しているところがあったので、そういう違いがあることは話題になったのですが、そこから更に詳しくということはありませんでした。私も今1年生を持っているのですが、やはり教科書を参考にしながらというと、朝顔が中心になってしまいます。

〔野地議長〕

他に質問はございますか。

全委員

なし（他にはなし）

〔野地議長〕

それでは、生活を終わります。

○音楽 菊池調査員より調査研究の結果について説明を受ける。

〔野地議長〕

それでは何かご質問等がありましたらお願いします。

〔飯山委員〕

教育出版株式会社の方は感染拡大防止というのが出されています。これらの教科書が使用される令和6年度には新型コロナウイルスも下火になっていると信じたいところですが、withコロナの時代にあって、こういうことも教科書に入れなくてはいけないのかとつくづく感じるところです。2社の中で片方は記載していないのですが、いかがでしょうか。

〔菊池調査員〕

まず教育出版株式会社の方は明らかに感染拡大防止を意識した項目があり、「この活動はこのように変えて活動できます」と書いてあります。完全にそこに視点を当てているなと感じました。ただ、株式会社教育芸術社の方は特に表記はなく、そういった配慮はないのですが、今までの教科書に比べればとても多様な動き、たとえば楽器や歌声などの部分を手拍子に替えてやってみるとか、そういった曲がたくさん増えているので、全く配慮がないかといわれるとそうではないかなと思います。ただ明記されているのは教育出版株式会社でした。

〔野地議長〕

他に質問はございますか。

全委員

なし（他にはなし）

〔野地議長〕

それでは、音楽を終わります。

○図画工作 小方調査員より調査研究の結果について説明を受ける。

〔野地議長〕

それでは何かご質問等がありましたらお願いします。

質問なし

〔野地議長〕

それでは、図画工作を終わります。

○家庭 釘持調査員より調査研究の結果について説明を受ける。

〔野地会長〕

それでは何かご質問等がありましたらお願いします。

質問なし

〔野地議長〕

それでは、家庭を終わります。

○保健 川口調査員より調査研究の結果について説明を受ける。

〔野地議長〕

それでは何かご質問等がありましたらお願いします。

〔浄泉委員〕

内容について大日本図書株式会社については2点、他のところについては5～6点記載していただいているのですが、大日本図書株式会社でここに記載されていない中で何か特色やこれ以外に何かあれば教えていただければと思います。

〔川口調査員〕

大日本図書株式会社と株式会社光文書院は非常に似ているという印象を受けています。なので、内容的には株式会社光文書院とあまり変わりはないのかなというイメージです。

〔野地議長〕

他に質問はございますか。

〔井上委員〕

各社、性の多様性などに触れているところはあったかどうか、というのはいかがでしょう。

〔川口調査員〕

性の多様性について載せている会社もあるかと思いますが、はっきりとどの社でというのは、すみませんが、わかりません。

〔野地議長〕

他に質問はございますか。

全委員

なし（他にはなし）

〔野地議長〕

それでは、保健を終わります。

○英語 佐々木調査員より調査研究の結果について説明を受ける。

〔野地会長〕

それでは何かご質問等がありましたらお願いします。

〔石田委員〕

学習者用デジタル教科書について記載されていますが、調査員の方々の意見やどんな特徴があるのか、そのことで詳しく説明をお願いします。

〔佐々木調査員〕

各社、工夫を凝らして、デジタル教科書や紙版の教科書の二次元コードを特徴として挙げていました。かなり豊富なコンテンツがあるのですが、特徴的なものとして、単語を調べる時間を短縮するために各社、紙バージョンの単語の本が設定されていて、これ

がデジタルであることにより、子どもたちが知りたい言葉の音声を聞いたり、自分に当てはまる言葉を探したりするのが、簡単にできるように作られています。

あと、言語活動をメインでやっていますので、練習するのに友だちとやらなくても練習相手がデジタル教科書の中にいたり、お互いに掛け合いがし合えるようなコンテンツも含まれていたりします。

また、家庭に1人1台端末を持ち帰って学習できるゲームや、言葉を入れ替えてどれが正しいかを考えるようなコンテンツも含まれていました。

前回までの学習者用デジタル教科書よりもパワーアップしたものが今回はどの会社でも用意されているようでした。

〔野地会長〕

他に質問はございますか。

〔山野委員〕

言語材料についてですが、別立てでWordbookに単語が載っているのは、3社ありますね。ただ、学習指導要領の中では、小学校での外国語学習はコミュニケーションの体験がメインでアルファベットの文字や単語については学習者に負担のないように配慮するという記載がございます。それを考えると、別冊で取り立てられているものは、調査員の先生たちにとって、活用しやすいですか。また、児童にとって学びやすいですか。そのことで話題になりましたら教えてください。

〔佐々木調査員〕

調査員の中でも話題は出ました。教科書とは別のWordbookがある方が私たちは教えやすいです。なぜかという、子どもたちが言葉を書き写すのに、教科書の一番後ろにズラッと言葉が載っているものより、いっしょに並べて見比べながらここにこうやって書くんだなと書き写すことが簡単にできますので、私たちは別立てがいいねという話をしていました。教師も子どもたちも同じ思いだと思います。

〔野地議長〕

他に質問はございますか。

全委員

なし（他にはなし）

〔野地議長〕

それでは、英語を終わります。

○道徳 佐々木調査員より調査研究の結果について説明を受ける。

〔野地議長〕

それでは何かご質問等がありましたらお願いします。

〔飯山委員〕

各社共通して「考え議論する道徳」「体験を重視した学習」になっていること、それから多様性、特性をもった児童にも対応できるということをおっしゃっていただきました。道徳が教科化され、先生方は多様性やさまざまな特性をもった子どもたちがいる中で解釈や難しい状況があるかと思います。評価をしなければならないことで、その最終段階において子どもたちや保護者に返すというときに、どういった点に調査員の先生方は着目されたのか、またどういう点がよかったのか、もしあれば教えてください。

〔佐々木調査員〕

道徳の学習において、やはり評価は非常に難しいと私自身感じているところです。

各社とも評価に関して、即時的にこの題材をやったらすぐに評価できるというような内容構成にはなっておらず、1年生から6年生まで内容項目を繰り返し学んでいく中で、6年間を通して培われ、心の中に浸透していくような、そういった工夫がされていると感じました。

中でも先ほども述べましたが、今話題になっているウェルビーイング「よりよく生きる」という6年生の最終の内容項目ですが、やはり人権的な部分や情報モラルなどの現代的課題をクリアしなければ、よりよく生きるというところに行き着くことは難しいと感じます。低学年のうちからそのような題材に触れ、高学年に向けてしっかりと学びが確保できるよう、繰り返しすべての学年に題材として載っているなという印象を受けました。

〔野地会長〕

他に質問はございますか。

全委員

なし（他にはなし）

〔野地議長〕

それでは、これで道徳を終わりにします。

以上を持ちまして、本日の議題はすべて終了となりました。スムーズな進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。

すべての議事が終了し、閉会する。